

GitHubへpushする方法の補足

補足説明

- GitHubとやりとりするには認証が必要です。
- パスワード認証が2021年8月に廃止になったため、access tokensによる認証方法をご紹介します。
- pushする際に必要となるため「13. Gitの基本的なワークフロー 2:49」のタイミングで実施ください。

具体的手順

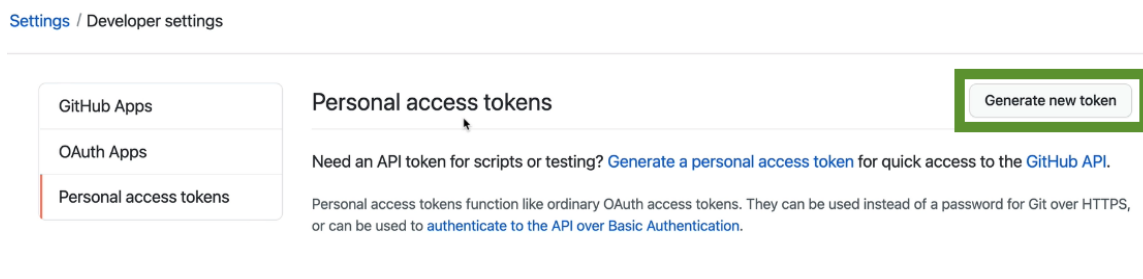
大きく2ステップを行います。

1. Personal access tokensを発行し、メモしておく
2. pushする際、ユーザー名と上記で発行したtokensを入力する

1. Personal access tokensを発行してメモしておく

「13. Gitの基本的なワークフロー 2:49」のタイミングで実施ください。

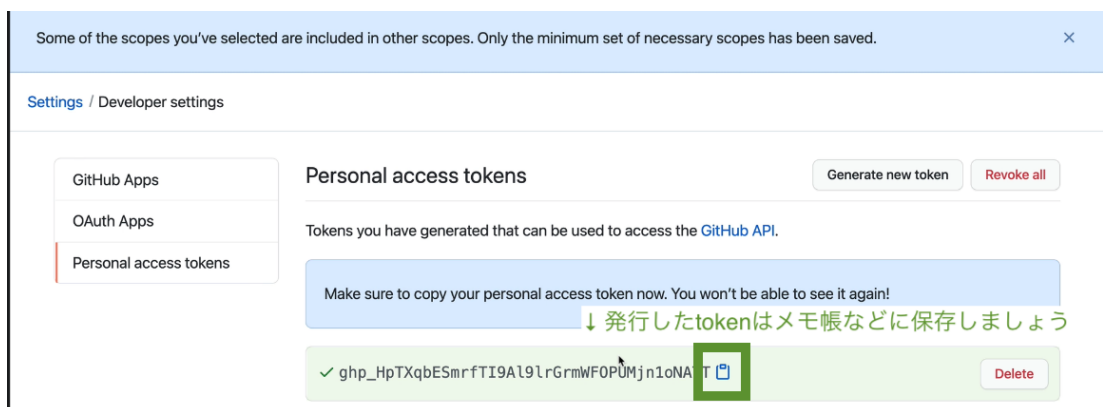
- GitHubにログインし、**Settings > Developer settings > Personal access tokens**を開く。
 - 開くにはこちらをクリック：<https://github.com/settings/tokens>
- **Generate new token** をクリックする。（下記画像の緑に囲まれた部分）



- Note：何用のtokenなのかを記入（例 admin）
- Expiration：tokenの有効期限を設定（例 90days）
- Select scopes：このtokenを持っている人が操作できる範囲を設定（例 adminなので、すべてにチェック）

すべて入力完了したら **Generate token** で発行する。

- 作成が終わったtokenをコピーしメモ帳などに保存しておく。
 - 保存しないと後から見ることはできず再発行が必要となるため注意！



2. pushする際、ユーザー名と上記で発行したtokensを入力する

「13. Gitの基本的なワークフロー 3:43」のタイミングで実施ください。

- ユーザー名は「9. Gitの初期設定 0:48」で設定している。
 - 忘れた場合は `git config user.name` コマンドで確認しておく。

```
% git push -u origin master
//ここでユーザー名とtokenを聞かれるので、それぞれ入力してEnterキーを押します
//ユーザー名とtokenを聞かれない場合、PC内にユーザー名とtokenを保存しており、それが参照されている可能性がございます
//PC内に保存したユーザー名とtokenを削除の上、git push コマンドを再度実施ください
```